

第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略について検討 する会議が開かれました。

令和2年11月2日

第1号

第2期廿日市市まち・ひと・しごと総合戦略検討会議 ニュースレター

■総合戦略検討会議とは

平成27(2015)年10月に人口減少への対策として、第1期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、第1期総合戦略という。)を策定しました。

第1期総合戦略の計画期間は令和2(2020)年度までであるため、第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、第2期総合戦略という。)の策定に向けて、様々な分野の委員から構成される総合戦略検討会議を設置し、検討を進めていきます。



検討会議の様子

■会議開催概要(第1回)

日時: 令和2(2020)年9月18日(金) 19:00~20:45

場所: 市役所3階政策審議室

参加: 委員9名(産業・行政機関・学識・労働・言論・士業の各分野に属する方)

■座長挨拶概要 [広島修道大学 山川肖美教授]

平成26(2014)年度に第1期総合戦略を策定した時は、廿日市の強みや弱みについて話し合い、それを元に今後どういう廿日市にしていきたいかについて議論しました。その結果として、第1期総合戦略で4つの柱となる基本目標を設定しました。今回においても、皆様より様々な立場から意見をいただきながら、第2期総合戦略を検討していきたいと思います。

なお、今回の第2期総合戦略では、次の3つのポイントが重要になると考えています。

- ① まちづくりの理念や方向性を定めた廿日市市総合計画との連携。
- ② 「協働」の観点を重視したまちづくりを進めていく。
- ③ 今直面しているコロナ禍への対応と、コロナ禍で培われた知見を活かしたコロナ禍後を見据えた取組。

これらの点も踏まえ、検討を行いたいと思います。

■議事(報告事項)

- (1) 第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- (2) 廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27-R2)の振り返りについて
- (3) 廿日市市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン※(改訂案)について

※総合戦略の策定に必要な人口等のデータを分析、目指すべき将来の方向性と人口の将来分析を行うもの。

■議事(協議事項)

- (4) 第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討部会について

■第2期総合戦略について

- 第2期総合戦略においても、現行の4つの基本目標の継続を基本とします。

■第1期総合戦略の振り返りについて

- 毎年、効果検証と改訂を行い、第1期総合戦略の推進を行ってきました。
- 第1期総合戦略の4つの基本目標のうち、3つの基本目標で数値目標を達成しています。

委員の声

- 数値目標を達成できていない基本目標は、指標の妥当性も含め検討していただきたい。
- 外国人や障がい者などマイノリティの方も取り込んだ計画にしていきたい。

■廿日市市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂案）について

- 第1期総合戦略のデータの時点更新に加え、近年増加傾向にある廿日市市に居住・勤務する外国人の動態、産業別の「稼ぐ力」に係る分析を加えました。
- 近年続いている転入超過の影響もあり、現行の人口将来展望（「令和22（2040）年 10万人」）を超える人口推計が示されたため、新たな人口将来展望では目標を「令和27（2045）年 11万人」とします。

委員の声

- 廿日市市への転入者が増加している要因について、背景を示して欲しい。

■第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討部会の設置について

- 検討会議の委員以外の方からも広く意見をいただくため、新たに検討部会の開催を検討しており、開催内容案について委員より意見をいただきました。開催内容は今回いただいた意見を参考に検討し、次回の検討会議で決定する予定です。

検討部会概要（案）

テーマ

- ①子育てにやさしいまち（まち）
- ②関係人口の創出・拡大（ひと）
- ③稼ぐ地域をつくる（しごと）

進め方

- 参加者は検討会議委員、テーマに関連した実践者、市役所職員等。
- エリア別（沿岸部・中山間部など）で開催。
- エリア毎にテーマを設定し、意見交換を行う。

委員の声

- 異なったエリアの人たちが集まることで、新しいアイデアが生まれるかもしれない。
- ICT（情報通信技術）の活用についても検討してはどうか。
- 市外の実践者も参加し、事例を紹介してもらう中で、廿日市市ではどのようなことができるかを意見交換できると良いと思う。
- 廿日市市の戦略の大きなテーマは「そこ！そこ！」※の廿日市である。テーマはそこを外さないように設定する必要があると思う。

※大都市とは違う「ちょうど良い」暮らしやすさや、廿日市市にしかないたくさんの魅力を表現しています。